

令和6年度 第1回 鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会 会議録 (概要)

日 時 令和6年5月24日(金) 午後2時00分から午後3時10分

場 所 市役所地下1階 団体研修室

出席者 三浦健会長、菊地謙副会長、向井智之委員、渡辺浩隆委員、石川由佳委員、野村正剛委員、吉田鈴美委員、山崎馨子委員、山本幸子委員、山崎幸子委員、櫻澤美智子委員、飯高優子委員、瀧口博史委員、會澤奈穂子委員、森井真理委員、今井崇徳委員(鎌ケ谷市社会福祉課長)、舟波早苗委員(鎌ケ谷市健康増進課主幹)

関係者 【なしねっと】丹野隆昭課長

欠席者 齋藤潤委員、渡邊輝江委員、勝又和久委員

事務局 【障がい福祉課】遠藤善治課長、高橋奈帆子庶務係長、橋本陽支援係長

【鎌ケ谷市基幹相談支援センターえがお】渡辺恵美子所長、坂巻美佳、恩田信幸、岩室優子

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・式次第
- ・協議会の組織図
- ・資料1 障害福祉サービス・障害児通所支援等・地域生活支援事業等の全体像
- ・資料2 「なしねっと」令和5年度実績報告
- ・資料3 「鎌ケ谷市基幹相談支援センターえがお」令和5年度実績報告
- ・資料4 令和5年度鎌ケ谷市地域生活支援拠点等事業報告書
- ・資料5 鎌ケ谷市移動支援事業 通学支援について
- ・資料6 日常生活用具一覧表

<本日の傍聴人及び会議の出席状況について>

事務局より、出席者数(17名)が会議開催の定足数である「委員の過半数の出席」を満たしていること及び傍聴者が0名であることを報告した。

<委嘱状交付>

障がい福祉課長より鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会(以下「協議会」という。)の新規委員に委嘱状を交付した。続いて委員全員の自己紹介を行った。

第6期鎌ケ谷市障がい福祉計画・第2期鎌ケ谷市障がい児福祉計画の令和5年度実績報告について

事務局より、資料1「障害福祉サービス・障害児通所支援等・地域生活支援事業等の全体像」を基に、計画より大幅に利用が増えたサービスを中心に説明した。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いしたい。

委員

計画に対しての達成率が非常に高くなっているが、実際のサービス提供はきちんとできているのか。達成率が高すぎるので今後の計画数値を考える必要があるのではないか。利用数が増えているのは、鎌ヶ谷市への転入者分が増えたのではなく住民の理解度や認知度が上がったためと考えてよろしいか。

事務局

サービスは滞りなく提供できているので問題ない。今後の計画数値は高く設定している。利用数の増加については、もちろん転入者もいるが、窓口サービスの提供や事業所パンフレットを見えやすく手に取りやすい場所に置く等の工夫もあり、理解度や認知度が上がっていると考えられる。

令和5年度相談支援事業の実績報告について

※相談支援事業：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」という）に基づく「地域生活支援事業」の中の市町村実施事業の1つ。鎌ヶ谷市では、これを委託しており、『一般的な相談』を「なしねっと」が、『基幹相談支援センター』を「えがお」が、それぞれ実施している。

(1) 障害者相談支援事業 なしねっと

令和5年度の実績について、資料2「なしねっと 令和5年度実績報告」のとおり件数および事例を説明した。

(2) 鎌ヶ谷市基幹相談支援センター えがお

令和5年度の実績について、資料3「鎌ヶ谷市基幹相談支援センターえがお 令和5年度実績報告」のとおり件数及び事例を説明した。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いしたい。

特になし

地域生活支援拠点等事業について

事務局より、資料4「令和5年度鎌ヶ谷市地域生活支援拠点等事業報告書」について件数と支援状況について説明した。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いしたい。

特になし

令和6年度からの新しい支援事業について

(1) 移動支援事業の通学利用

事務局より、資料5「鎌ヶ谷市移動支援事業 通学支援について」を基に説明した。協議会のテーマ別チーム（地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム）から提言書が出ていた内容であり、長年にわたり要望があったサービスなので必要な方には是非ご利用いただきたい。

(2) 非常用発電機等（日常生活用具）の購入費助成

事務局より、資料6「日常生活用具一覧表」を基に説明した。協議会のテーマ別チーム（医療的ケア児支援チーム）から提言書も出され、新たに助成対象になった非常用発電機等について説明した。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いしたい。

委員

移動支援事業の通学利用とは、今までの移動支援とは別のものか。

事務局

同じ移動支援事業であり、利用対象を拡大したということである。

その他

会長

その他、本日の議題について何かあればお願いしたい。

委員

精神障がいの包括ケアに取り組むべき優先的な課題があったら教えてほしい。

事務局

医療との連携が課題である。協議会のテーマ別チーム（精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム）が作成したフローや情報提供書を共有して活用していこうと考えている。近隣苦情等のケースでは、警察、保健所、市役所、医療との連携が難しい。円滑に進められるようご協力をお願いしたい。

会長

他になければ以上で協議会を終了する。

閉会

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和6年5月24日

氏名 山本 幸子 _____

氏名 山崎 馨子 _____